

戦後改革期に教科書会社から刊行された教育雑誌 (10)

— 実業教科書株式会社の『高校教育』誌 (Ⅲ) —

丸 山 剛 史
尾 高 進

Journal Published by Textbook Publisher under Educational Reform after World War II (10)

MARUYAMA Tsuyoshi, ODAKA Susumu

本報は前報までに続き、戦後改革期に実業教科書株式会社（1950年8月、実教出版株式会社に改称）から刊行された教育雑誌『高校教育』に関して検討しようとするものである¹。本報では紙幅の関係により、第9巻（57年）から第11巻（59年）までの目次を収録した。

前報で述べたように、『高校教育』誌は、1949年7月、『商工教育資料』を改題した雑誌として刊行され始めた。しかし、改題後2年も経たない50年12月に第3巻第12号をもって「一時休刊」となった。そして休刊から約1年半後の52年5月に復刊し、第4巻第1号が発行された。この間の経緯が第4巻第1号掲載の「復刊のことば」（専務取締役・水谷三郎執筆）に以下のように記されている²。

「雑誌『高校教育』は、高等学校の先生方のために、いくばくかのお役にたちたいと思って、二十四年七月に創刊しましたがいろいろな点で難関に逢着して、二十五年十二月限りで休刊しておりました。／もともと、この種の雑誌は、経済的にきわめて困難なものであります。しかし高等学校向きの教育雑誌が一種も無いということは、なんとしても残念であります。創刊の時にも、文部省をはじめ各方面から強い要望に応じて、採算を犠牲にして企画したのですが、編集上にも困難な事情が起こって休刊して、今日まで時を待っていた次第で

¹ 丸山剛史・尾高進「戦後改革期に教科書会社から刊行された教育雑誌 (9) — 実業教科書株式会社の『高校教育』誌 (Ⅱ) —」『工学院大学共通課程論叢』第48巻第2号、2011年、35-46ページ。

² 水谷三郎「復刊のことば」『高校教育』第4巻第1号、1952年、1ページ。

す。／休刊してみると、やはり淋しく、愛読されていた先生方が、いつになったら復刊するかと、きわめて熱心に待ってられる実状であり、かつ新教育制度も年一年と安定して参りましたので、思い切って復刊することにしました。／しかし、今回は、カミシモを着ずに、自由な編集をすることにしました。執筆者には特定の問題についてお願いせず、むしろ執筆者御自身の御判断によって、問題を提供していただくことにしようと思っております。また執筆者をできるだけ自由に選び、有名無名を問わず、場合によっては、専門外の人にもお願いすることも考えています。専門外の人々が案外適切な問題を提起する場合も、他の例にはたくさんあって、教育だけがその例外ではないと考えるからです。／問題を限らない結果は、随想になったり、時として漫筆になることもあるかもしれません。しかし先生方にとっては、第一ページから最終のページまでが、教育問題で埋められていなければならないとは限らないかと考えます。時として読みものもあることが、むしろこうした専門雑誌としてはよい場合もあるかと思えます。／むしろ、復刊の『高校教育』は、先生方が、通勤の乗物の中で、あるいは授業の寸暇に、一ページ、一篇を気軽に読み切れるような文章で、毎号を編集しようかと思っています。／しかし、これは、おそらく長続きしないかもしれません。この種の雑誌は編集者が一方的に企画して、読者に押付けるべきでなく、読者の要望にしたがって編集さるべきものだからです。つまり、程なく先生方の御希望の方向に編集方針が動いていくことを予想する次第です。／したがって、どんな問題でも結構ですから、どなたも、自分たちが編集するというお考えの下に、御意見をお寄せくださることを切にお願いいたします。」

実業教科書株式会社は、1950年8月に社名を実教出版株式会社に改めているが、当時、同社は創業以来の「危機」に見まわれており、経営再建のために30%の人員整理を行うなどしていた。51年以降、教科書に関するCI&Eの検閲が廃止されると、検定に合格する教科書点数の率も急激に上昇するなどし、業績は回復、52年7月には「銀行債務も完済して完全に立ち直りを果たした」とされる³。

『高校教育』誌の「休刊」及び「復刊」は、こうした実業教科書株式会社及びその後身の実教出版株式会社の経営状態によるところが大きかったと思われる。ただし、「立ち直り」を果たしたとされる52年7月以前に「復刊」されており、同誌の「復刊」には期するものがあったのではないと思われる。

さて、ここで、2点ほど留意しておきたいことがある。

一つは、創刊当初『高校教育』誌が「文部省をはじめ各方面からの強い要望に応じて」編集発行されたものと記されていることである。とりわけ文部省と小さくはない関係をもっていた点が着目される。『高校教育』誌創刊号にあたる第2巻第1号に文部省初等中等教育局中

³ 創立50周年記念誌編修委員会『実教出版50年の足跡』実教出版株式会社、1992年、20-21、125ページ。

等教育課長（当時）であった大田周夫が寄稿し、休刊するまで文部省関係者が多数寄稿していたことは上記の記述を裏づけるものと思われる。

いま一つは、復刊後に雑誌の性格が変化したとみられることである。この点は上記の水谷の文章にも記されているが、復刊後、文部省職員の解説はほとんど掲載されなくなることは指摘しておきたい。復刊後には、宮原誠一の論考や座談会記録が掲載されるようになるなどし、水谷の言葉通り、雑誌の性格は変化したように思われる。目次整理作業を続けていくと、さらに変化する時期があるように思われるが、その点に関しては、次号以降において言及したい。

資料.『高校教育』誌目次集(1957-1959年)

- ・本日次集を作成するにあたっては、編者が所蔵機関に出向き現資料を確認した。
- ・所蔵機関名を巻号・発行年月右横のカッコ内に記した。
- ・執筆者名右横のカッコ内の数字はページ数を表す。

第9巻第1号：1957年1月1日

(東京学芸大学附属図書館)

著作権の話	大田周夫 (14)
麦踏み教師	栗原武夫 (20)
卒業生は私を忘れない	槌賀安平 (21)
鱈のように	渡辺公平 (23)
手紙褒め	沼田麦男 (25)
国民所得の評価の仕方	中村浩 (18)
鶏肋言 音感	山紫楼 (13)
座談会 現代高校生の生き方	

重松敬一・和田典子・安藤外・斎正子・

宇野一 司会 本社編修部長 井上亀三 (2)

譬喩名句あれこれ 斎藤義七郎 (30)

高校評判記 福岡商業高校 山本久法 (32)

教科書談義 水谷三郎 (26)

アメリカの思想家 ジョージ・セルデス

西田勲 (28)

教授資料

化学 二、三の有機実験について

志賀義雄 (33)

生物 生理的リズムの発生 井上清恒 (36)

教育ニュース (40)

編集後記 (40)

第9巻第2号：1957年2月1日

(広島大学附属図書館・中央)

社会科社会の教科書研究について

東京都高校社会科研究会 (8)

鶏肋言 ドライ・ウェット 山紫楼 (7)

定時制問題

「切替え」か「昇格」か

“定時制から全日制へ”の読後感 福谷弘 (4)

揺れ動く定時制教育

—分校統廃合問題に関連して 竹中かずお (5)

声高の私語 (なぜに授業終了のベルは解放のベルであるか) 盛口婦美 (2)

高校評判記 神奈川県平塚市立高浜高校 (11)

なぜに疎遠か 一倉喜好 (12)

緑色の黒板 額田淑 (13)

四当五落 其井豊 (14)

あまりにも計算的な 友定節 (15)

すれ違いの生活 恩田高夫 (16)

能登のシンガイガネ

卯木文敬 (17)

教科書談義

水谷三郎 (18)

アメリカの思想家 スコット・ニヤリング

西田勲 (20)

教授資料

生物 脳下垂体後葉ホルモン 井上清恒 (22)

商業一般 貿易 (その1) 白石孝 (26)

書評 日本海藻誌

教育ニュース

編集後記

第9巻第3号：1957年3月1日

(東京学芸大学附属図書館)

大学の入学試験と基本的人権 中島正信 (6)

在野精神論 岡本精一 (2)

鶏肋言 オートメーションと人海戦術 山紫楼 (5)

凶作地の高校訪問 横田弘之 (10)

農村と読書 松本十九 (11)

平々平々 (人名雑感) 原田伴彦 (12)

ティクツ・イーザー 宮崎利秀 (14)

ある農業高校の数学力 芝田隆雄 (16)

視聴覚教育としての板書 菅谷裕 (9)

教科書談義 水谷三郎 (18)

コント 空中撮影 仁張寿雄 (20)

教授資料

生物 遺伝と進化 井上清恒 (22)

商業一般 貿易 (その2) 白石孝 (26)

統計資料 昭和31年主要輸出入品 (30)

教科書評 都留重人著 経済 山陽生 (31)

教育ニュース (32)

編集後記 (32)

第9巻第4号：1957年4月1日

(広島大学附属図書館・中央)

いかにして基本的概念を具体例で生かすか

《応用数学教科書のあり方について》 斎藤義 (12)

三単位物理の実践的把握 沖山幸太郎 (14)

座談会 オートメーション = 産業と社会と人と =

出席者 友田三八二・中島正信・菅是敬 (2)

鶏肋言 国民所得と国民生活 山紫楼 (11)

最近世界情勢解説 世界の十字路・中東

諏訪良二 (22)

学校剣道雑感

小川和佑 (16)

涙金の威力	矢島寿治 (18)	門叶みちお (33)
教科書談義	水谷三郎 (20)	教育ニュース (34)
コント ノイローゼ菌の恐怖	山西覚 (24)	編修後記 (34)
国際収支について (教授資料「貿易」<その3>)	白石孝 (26)	第9巻第7号: 1957年7月1日
教科書評 沼田嘉穂著「会計」<改訂版>	松本正信 (31)	(広島大学附属図書館・中央)
太田哲三著「新工業簿記」正誤表	(30)	最近の鳥類野外研究法 黒田長久 (24)
教育ニュース	(32)	農村婦人の作業衣 内藤豊三郎 (27)
編集後記	(32)	(鶏肋言) 外貨危機 山紫楼 (11)
第9巻第5号: 1957年5月1日		「国民感情を語る」(5月号) 批判
(広島大学附属図書館・中央)		教訓を見出さず 入江澄夫 (4)
地方史研究の必要 筑紫申真 (6)		配属将校の訓話 山下楠一 (6)
地域性と教育<教育社会学の立場から>		話しあいの場もある 小林英夫 (8)
須藤万治 (14)		換気口のない家 長嶋恒義 (9)
<鶏肋言>6・3・3・×・4 山紫楼 (9)		学問の動脈硬化——社会科の最近の傾向によせて——
特集 教科書目録 (25)		伊東光晴 (2)
高校と性格の形成 佐久間省三 (2)		特集 教科書目録 (33~64)
二つの思想 渡辺守順 (4)		バスの窓 中村博 (14)
民族のかなしさ 山下楠一 (10)		漂白する人間の営為との抗い 佐藤威夫 (15)
食事費のみなれば3円50銭位い		女子の数学教育 木崎正一 (17)
——牧野富太郎博士の書簡—— 筑波稔 (12)		書齋にいて 品川誠 (19)
最近世界情勢解説「冷戦」の主戦場・東南アジア		球戯過多 加藤生 (20)
諏訪良二 (18)		つんづみ山莊詩 原浩三 (21)
教科書談義 水谷三郎 (16)		在野精神の実践上の問題点 藤本正三郎 (12)
国民感情を語る 越川彌栄 (20)		最近世界情勢解説 ソヴェト経済行政機構の再編成
商業簿記に出てこない商店経営に必要な帳簿について		諏訪良二 (22)
松本重忠 (22)		教科書談義 水谷三郎 (30)
教育ニュース (24)		一商品学徒の弁 谷山整三 (30)
編集後記 (24)		教育ニュース (32)
第9巻第6号: 1957年6月1日		編修後記 (32)
(広島大学附属図書館・中央)		第9巻第8号: 1957年8月1日
リベリア見聞記 河合諄太郎 (20)		(愛知教育大学附属図書館)
西欧州の経済統合とその世界史的意義 諏訪良二 (30)		商業教育は自己崩壊の危機に臨んでいる
座談会 体育教師の場		原隼人 (2)
——三つの問題点をめぐって——		高校教育はこれでよいか 芝田隆雄 (3)
松井三雄・坂井田逸治・酒巻俊夫・村上亀恵・		六・二・四制にせよ 中川信彦 (22)
高崎テツ子・松本泰子・蘭頭潔 (2)		高校生夏季休暇の生活実態 (12)
<鶏肋言>学校スポーツと社会 山紫楼 (15)		百家争鳴と中国の教育
特集 教科書目録 (横組1~18)		“全面発展”と“因材施教”を中心として
孫文にささげられた詩——日本における孫文評価をめぐって——		平井巳之助 (6)
野沢豊 (16)		鶏肋言 政治家の人気について 山紫楼 (5)
高校生は合理主義 武藤徹 (24)		心の中の出勤簿 高橋弘 (14)
社会科をつまらながる 品田毅 (26)		国歌のことなど 渡辺芳夫 (15)
教科書談義 水谷三郎 (28)		女の子のご返盃 上滝元 (17)
国際理解教育の必要性 島谷正亮 (32)		真田幸村 (しんだこうそん) 筑紫申真 (18)
教科書評 福原満洲雄編 数学の教室 数学I 幾何		最近世界情勢解説 後進国開発の動機と態度
		諏訪良二 (20)
		教科書談義 水谷三郎 (24)

- 日本史自己展開学習覚書 菱刈隆永 (26) (広島大学附属図書館・中央)
- 普通課程における珠算教育 武者野実 (28)
- <俳句>祭灯・蟬時雨 (16)
- 教育ニュース (32)
- 編修後記 (32)
- 第9巻第9号：1957年9月1日 (愛知教育大学附属図書館)
- ある発想法に現われた民族的特殊性 原本洋二 (12)
- <鶏肋言>二つのコムプレックス 山紫楼 (11)
- 「六二四制にせよ」批判
- 奇論六二四制を駁す 秋山明 (22)
- 戦後学制改革の意義を忘れた六二四制論 相原寅松 (23)
- 楽天主義の六二四制論 古川京一郎 (25)
- 定時制の義務化で 渡辺誠三 (27)
- 六二四制よりも六六制 福谷弘 (29)
- 岸内閣の文教政策に望む 田波又男 (18)
- <高校評判記>青森県立三本木農業高校 (19)
- 座談会 求人側にも申す 高校職業補導教師の座談会 (2)
- 教科書談義 水谷三郎 (16)
- しあわせの歌 四竈経夫 (20)
- カンナの花の咲くころ 境哲雄 (21)
- 教科書評 西岡虎之助編 高校日本史 (31)
- 教育ニュース (32)
- 編修後記 (32)
- 第9巻第10号：1957年10月1日 (広島大学附属図書館・中央)
- 恵まれない農村の教育 栗原武夫 (24)
- 描きつづけた農業の人間像 森口洋一 (26)
- <鶏肋言>学校と社会 山紫楼 (15)
- 銀行・会社人事課・課長の座談会
- 求人側はかく見、かく考える (2)
- 資料 今春の高卒はどれだけ就職したか (13)
- 高等学校における統計教育 吉中等 (16)
- 「恐縮先生」 田坂寧邦 (18)
- ウィスキーと花火 一倉喜好 (19)
- 停滞から生まれる雅趣 平綿良則 (21)
- 道德教育と敬語 中川信彦 (22)
- 最近世界情勢解説 ラ米に底流するもの 諏訪良二 (30)
- 教科書談義 水谷三郎 (28)
- 高校評判記・静岡県立焼津水産高校 (14)
- 俳句 教師秋冬 山岸竜臣 (25)
- 編修後記 (32)
- 第9巻第11号：1957年11月1日
- 日本の大衆社会と教育 重松敬一 (6)
- <鶏肋言>科学教育の振興について 山紫楼 (11)
- 商業教育自己崩壊論 (8月号) 批判
- 商業教育は自己崩壊するか 岩本一美 (30)
- 一つの答えとして 村田好吉 (30)
- 労働統計を利用する人のために 高橋保 (28)
- 実践報告 日本史自己展開学習の成果 筑紫中真 (2)
- 高校二年の危機 盛口婦美 (12)
- 青年と宗教 友田篤志 (14)
- 岩谷堂菅笠 池田雅美 (15)
- 職のきびしさ 横田英男 (16)
- 論理性の欠如について 西尾栄次 (16)
- 封鎖された技術的知識 山岸竜臣 (18)
- 発電風車 高橋良助 (19)
- ローマ数字偶感 渡辺正 (21)
- 数学クラブ活動 島林英雄 (22)
- 高校生の短歌 Y・Y (23)
- 教科書談義 水谷三郎 (24)
- <高校評判記>栃木県立栃木商業高校 (10)
- 最近世界情勢解説 シリア問題の焦点 諏訪良二 (26)
- 俳句 ささき・とみ (18) / 俳句 上田本昌 (22)
- 教育ニュース (32)
- 編修後記 (32)
- 第9巻第12号：1957年12月1日 (愛知教育大学附属図書館)
- 昭和32年の教育界回顧 (28)
- <鶏肋言>集団万引 山紫楼 (9)
- 米国の農業教育に学ぶ Future Farmers of America
- 大会に招待されて 栗崎寅市 (2)
- 関数観念の養成 杉本実 (22)
- ★最近世界情勢解説★ 新たなる均衡 諏訪良二 (26)
- 「小督」解釈の一つの問題点 藤井了諦 (10)
- 国語教授指導書 増岡隆亮 (11)
- 百字考 村山芳郎 (12)
- サービス談義 石川裕 (13)
- 女性意識の変遷 西山民雄 (14)
- 定時制という用語 有ヶ谷不二夫 (15)
- 養鰻業開基 中村義太郎 (16)
- 禁煙 重松亀太郎 (17)
- 社稷の任 佐々木宏 (18)
- 指導は一对一で 古林森宏 (19)
- 職業指導教師の希い 小川朋次郎 (20)
- 反響 山口利助 (21)
- 教科書談義 水谷三郎 (24)
- 短歌 阿部昌彦 (21)
- 文教10大ニュース候補 (教育ニュース) (32)

編修後記	(32)	“旧説”高校解体論	伴一幸 (20)
		高校解体論に関連して	小寺平吉 (22)
第10巻第1号：1958年1月1日		高校解体論を截る	鯨岡寿彦 (24)
(愛知教育大学附属図書館)		新中国における孔子の評価	新島淳良 (2)
戦後の数学教育について	武藤徹 (10)	《統計資料》わが国の主要輸入品	(32)
指導要録記入上の問題点について	黒木義男 (24)	私がまいた種	奥山隆夫 (12)
高校解体論	高原健吉 (2)	新式工作機械のモデル校がほしい	平井仙一 (14)
国語そぞろごと	服部嘉香 (20)	平賀源内の遺宅	市原輝三 (15)
<鶏肋言>試験	山紫楼 (6)	ストリップ・ミルとはどういうものか	
定時制生徒は訴えている	佐々木惇 (15)		小池光之助 (27)
ぶぐ酒	小寺平吉 (17)	教科書談義	水谷三郎 (16)
西洋枕の効用	石垣純二 (14)	編修後記	(32)
高校山岳部に望むこと	小川和佑 (18)		
学校図書館	茂木保定 (19)	第10巻第4号：1958年4月1日	
農業教育と農業教科書	橋渡良知 (7)	(愛知教育大学附属図書館)	
<実践報告>郷土の文化史を活用して	小林匡 (30)	社会科倫理の中心課題	高桑純夫 (2)
教科書談義	水谷三郎 (26)	<鶏肋言>生活指導について	山紫楼 (8)
★国際政治経済展望★世界の景気は後退するか		総合高校制と職業教育	松田一男 (9)
	諏訪良二 (28)	物理教育の現状	内村太郎 (12)
<統計>最近世界各国人口	(32)	高校解体論々争	
編修後記	(32)	高校整備論	佐藤重行 (16)
		高校教師だけを責められまい	福谷弘 (19)
第10巻第2号：1958年2月1日		働く夜間高校生の実態	(21)
(愛知教育大学附属図書館)		教科書談義	水谷三郎 (22)
商業教育を推進するもの	岩本一美 (4)	<国際政治経済展望>中東状況の区画整理	
定時制の生きる道	竹中一雄 (18)		諏訪良二 (24)
高校漢文教育の問題点	宇野精一 (2)	1957年の貿易事情	(26)
科学教育界の悪循環	安部弘 (8)	家族機能とパースナリティ	村木経光 (28)
《昭和32年の新語・流行語》	(11)	<教科書評>数学Ⅱ	門叶みちお (31)
読書歴を調べる	杉田瑞子 (14)	<統計資料>主要物産生産高	(32)
<將軍>は男振り	三井田吉次 (16)		
これからの台地の土地利用	須藤万治 (20)	第10巻第5号：1958年5月1日	
《統計資料》わが国の主要輸出品	(32)	(東京大学教育学部図書室)	
—コント—		教科書目録	(33)
曇り後・晴れ	阿部祖海 (24)	ゾウリムシの遺伝 生物教授資料	井上清恒 (11)
謝恩演芸会	山田紫煙 (26)	家庭科—その戦後的なもの	佐藤礼子 (2)
木星人	伴一幸 (29)	コース制のボトル・ネック	若林覚 (6)
ファウストの遺族	山浦篤 (28)	八王子千人隊	森田義三 (16)
教科書談義	水谷三郎 (22)	技術者資格検定制度を	山本正夫 (18)
<教科書評>高校世界史	近藤正弘 (31)	途上	川畑篤郎 (19)
<書評>	(30)	わが校の道德教育	境哲雄 (21)
編修後記	(32)	お茶	小松原弘 (23)
		高校評判記・市立長崎商業高校	(5)
第10巻第3号：1958年3月1日		学習指導における根本的な一概念	黒木義男 (24)
(愛知教育大学附属図書館)		教科書談義	水谷三郎 (26)
新世代の倫理意識は反発する	後藤宏行 (8)	家庭調査32年度の概況	(28)
<鶏肋言>日本とドイツ	山紫楼 (7)	俳句・当季雑詠	佐伯ゆたか (17)
= 高校解体論批判 =		和歌・日本のチョーク	阿部昌彦 (19)
逃避的自爆を排す	YM生 (18)	統計・主要物産生産高	(32)

第10巻第6号：1958年6月1日

(愛知教育大学附属図書館)

戦後数学教育の成果 門叶みちお (10)
 教科書評 数学Ⅲ 莊司寛 (17)
 重視したい立場と中味 本田康夫 (6)
 32.0人 横田弘之 (18)
 昼行列車の好きな紳士 石垣純二 (19)
 うて、きびしく 横田英男 (21)
 高校の教師 宇野一 (2)
 高校解体論 解体論と反解体論を仲裁する

前田明宣 (22)

<実践報告>生物の学力 小滝一夫 (14)
 <教授資料>ミミズの神経 井上清恒 (28)
 教科書談義 水谷三郎 (24)
 ゆらぐインドネシア (国際政治経済展望)

諏訪良二 (26)

統計資料 主要海運国および世界の保有船腹 (32)
 《俳句》万緑 鈴木富美 (20)
 付録 教科書目録 (横組1～16)

第10巻第7号：1958年7月1日

(愛知教育大学附属図書館)

あの国この土地 小原敬士 (10)
 <鶏肋言>むづかしい教科書 山紫楼 (9)
 座談会 学不可以已 対決する戦後の漢文教育
 出席者 宇野精一・清田清・中沢千鶴子・
 渡辺弘一郎・山井湧 (2)
 アフガニスタン探検記 北村四郎 (15)
 左タテ書き論 萱沼貞石 (18)
 衣服を通じての感覚教育 桑沢洋子 (19)
 化学教育裏ばなし 莊司寛 (20)
 生物教授資料・ザリガニの生理 井上清恒 (28)
 フランスの苦悩 (国際政治経済展望) 井口東輔 (26)
 教科書談義 水谷三郎 (24)
 ■ 詩わかれ 品川誠 (23)
 <統計資料>31年度高校卒業生就業形態 (32)
 付録 教科書目録 (33)

第10巻第8号：1958年8月1日

(愛知教育大学附属図書館)

狂った体系のアジャスト
 — 物理教育の戦前と戦後 — 関根栄雄 (12)
 実施段階にきた道德教育を高校はどううけとめるか
 間瀬正次 (20)
 学校新聞について 小林英夫 (16)
 諺は遺産 大西進 (17)
 十代の純潔 重信和義 (18)
 日本農業の現在の問題点 碓正夫 (2)
 <鶏肋言>テレビについて 山紫楼 (11)

実践報告 はじめて「商品」を教えて

箕輪京四郎 (6)

ストレスと下垂体副腎系 (生物教授資料) 井上清恒 (26)
 教科書談義 水谷三郎 (24)
 左タテ書き論 (完) 萱沼貞石 (31)
 和歌・ベトリ皿 大江正徳 (17)
 俳句・飛騨展望 金子風子 (18)
 漫画・ハリキリ先生 八島一夫 (30)
 <統計>学歴別初任級分布 (その1・男子の部) (32)

第10巻第9号：1958年9月1日

(愛知教育大学附属図書館)

漢字と読書 伴一幸 (2)
 <高校評判記>福島県立若松商業高校
 山口幸助 (7)
 商業教育と普通高校 田沢昭典 (12)
 商業高校生にも理工的なものを 栗田収 (14)
 Ergonomica 平井仙一 (15)
 生徒も教科書の著者である 折井一 (16)
 理科教育における技術指導 黒木義男 (8)
 科学技術教育振興のスプリング・ボード

盆地文化の担い手たち 木場正義 (31)
 矢島寿治 (17)
 プリミティブな体験 K教論 (18)
 教壇往来 石井徳次 (19)
 婿には高校教師 西山民雄 (23)
 <教科書評>生態分布の貧困 小滝一夫 (4)
 <実践報告>林業課程における数学の必要性について
 合田徹郎 (10)
 教科書談義 水谷三郎 (24)
 <生物教授資料>眼の生物学 井上清恒 (26)
 俳句
 思念絶つ 佐伯ゆたか (13)
 日焼せし子ら 上田本昌 (21)
 <統計>学歴別初任級分布 (女子の部) (32)
 漫画・教室の夢 八島一夫 (30)

第10巻第10号：1958年10月1日

(愛知教育大学附属図書館)

高校教育の在り方 高崎隆治 (6)
 教師の未来を探る 高原健吉 (7)
 <鶏肋言>職業選手 山紫楼 (5)
 勤評騒ぎに思う 長嶋恒義 (12)
 十代の詩人 小川和佑 (13)
 おじぎ 中川信彦 (14)
 道德教育瑣談 渡辺正 (16)
 福祉国家への思想 勝野勲 (17)
 叱ることの難しさ 福島栄次 (18)

実験室の現象と現場の現象	神山雅英 (2)
入社試験にあらわれたクレペリン検査について	守政輝雄 (20)
教科書談義	水谷三郎 (22)
■生物教授資料■生命論について	井上清恒 (26)
ラテンアメリカの教えるもの (国際政治経済展望)	諏訪良二 (24)
=俳句=豪華な夕焼	村山砂田男 (19)
=まんが=ツライ先生	八島一夫 (30)
たより欄	(30)
=書評=日本資本主義論争批判	(31)
■統計■基本人口統計 (わが国人口の推移)	(32)

第10巻第11号: 1958年11月1日

(東京大学教育学部図書室)

農業科実践報告・地域社会の中で	石川寿雄 (26)
本社社章決定まで	(2)
教育とは未来をつくることである	タカハシ リョウスケ (4)
自由国日本	長沢義雄 (6)
珠算簿記検定試験随想	草間二郎 (9)
観光バスのガイドさん	筑紫申真 (10)
教科の借り	寺尾八郎 (14)
株式	平綿良則 (15)
七人の侍	横田弘之 (16)
漢字雑記	大中一郎 (17)
工業簿記教科書における疑点	後藤貴雄 (31)
デカルトの生物学 (生物教授資料)	井上清恒 (20)
教科書談義	水谷三郎 (18)
国際政治の現段階 (国際政治経済展望)	諏訪良二 (24)
○和歌・図書館にて	岡田貞義 (13)
○俳句・冬行李	白木順 (17)
○まんが・気にする先生	八島一夫 (30)
統計資料・米作累年統計 (メートル法に換算)	(32)

第10巻第12号: 1958年12月1日

(東京大学教育学部図書室)

冬眠の生理 (生物教授資料)	井上清恒 (26)
教科書談義	水谷三郎 (2)
メートル法に換算した麦類累年収穫高統計	(32)
名前とラジオをめぐる話	伊藤典郎 (4)
私はこう信じたい	渋谷計二 (5)
農村文化と離村の動き	兼杉博 (6)
定時制課程	金野三郎 (8)
官僚的教師と思いつめ型生徒	寺門康伸 (10)
身の上に心配あり	平井仙一 (12)
生活の知恵	高伏皓 (13)
性説について	青木要 (15)

日本語寸感	渡辺守順 (16)
チョークの色について	菅原裕 (17)
一日	石橋英敏 (18)
道德教育は国語科ですべきもの	鯨岡寿彦 (20)
研究発表機関の発刊を望む	小野常道 (21)
明治初期の新旧教育思想の対立	一倉喜好 (22)
先生という職業	山西覚 (24)
書評	(31)
俳句・冬日	鈴木富美 (11)
漫画	八島一夫 (30)
たより欄	(32)

第11巻第1号: 1959年1月1日

(愛知教育大学附属図書館)

大学入試と物理の立場	内村太郎 (6)
高等学校入学選抜はどうあるべきか	中村礼作 (14)
国際政治経済1959年の展望	諏訪良二 (22)
中学理科の新指導要領と高校化学	白井俊明 (2)
漢字と高校国語教育	中沢千鶴子 (18)
《生物教授資料》ミツバチのことども	井上清恒 (24)
数学入試問題のうつり vari	武藤徹 (10)
《教授資料・日本の工業》ソーダ工業	(28)
=統計=わが国の石炭・電力・鉄生産高推移	(32)

第11巻第2号: 1959年2月1日

(愛知教育大学附属図書館)

明治時代の科学技術教育と道德教育	前川太市 (2)
高校社会科をどのように改定するか	間瀬正次 (6)
道德教育の二面	水野清志 (10)
道德教育参考書の紹介	(5)
ソ連の学制改革と中国の学制改革	新島淳良 (12)
《日本の工業》(その2) 鉄鋼業	市川利勝 (24)
欧州通貨改革の意義 (国際政治経済展望)	諏訪良二 (16)
減んだ天然記念物	渡辺正 (18)
学校は株式会社ではない	井口祐夫 (19)
便所掃除談義	富永盛夫 (21)
定時制に春を	中村敏夫 (22)
《生物教授資料》微生物遺伝とノーベル賞	井上清恒 (28)
=統計=世界の米および小麦生産高	(32)
俳句	
越後展望	三井田吉次 (21)
冬日抄	小寺草骨 (23)

第11巻第3号: 1959年3月1日

(東京大学教育学部図書室)

都市に近接する農業高校の危機の様相	渡辺誠三 (6)
-------------------	----------

- 秋落田地域の診断 須藤万治 (20) 俳句・はくはく抄 中村菊一 (21)
 農業関係図書の紹介 (8) 自己主張過多を認めよう 田崎常之 (20)
 マス・コミの受容について 庵造巖 (2) <生物教授資料>神経の生理 井上清恒 (28)
 人民公社 (国際政治経済展望) 諏訪良二 (26) 統計・昭和33年主要輸出品 (32)
 <高校評判記>県立青森商業高校 (9)
 生きている“銭” 寺尾八郎 (10) 第11巻第6号: 1959年6月1日
 あてかた 小松原弘 (11) (愛知教育大学附属図書館)
 産業教育の前に立ちはだかる壁 栗田収 (12) 高等学校におけるオリエンテーションの理論と実際
 面接と見合いと 手鹿良美 (13) 中沢次郎 (1)
 鈴鹿吟行 鈴木富美 (14) 農業法人をめぐる諸問題 石川武男 (5)
 歴史の授業から学んだ事 北郷康 (16) 高校物理教育の一つの問題 小島昌夫 (8)
 肝心な所を逃がっている 河野亮 (17) 人間 額田晋 (12)
 <日本の工業>綿紡績 UDH (22) 「工政」の先覚者 吉田空楼 (14)
 血液について (高校生物教授資料) 井上清恒 (28) 英国の立場 (国際政治経済展望) 諏訪良二 (16)
 <統計>最近の世界各国人口 (32) <生物教授資料>神経繊維 井上清恒 (18)
 第11巻第4号: 1959年4月1日 実教歌壇 宮柊二選 (22)
 (愛知教育大学附属図書館) 実教俳壇 石田波郷選 (22)
 農業課程の目的的な編成 和田文吉 (18) <実践報告>はじめて「統計」を教えて 箕輪京四郎 (24)
 理科の指導について 黒木義男 (6) <統計>昭和33年主要輸入品 (31)
 ホームルーム制を守ろう 高橋泰郎 (2) 付録 35年度用教科書目録
 <教授資料>
 造船業 (日本の工業・その4) 藏園進 (22) 第11巻第7号: 1959年7月1日
 血液型とその遺伝 井上清恒 (28) (愛知教育大学附属図書館)
 つれづれ草科植物考 中野国芳 (8) これだけは読ませたい
 難きを強うるもの 茂木保定 (9) — 本校生の読書実態から — 甲斐清通 (1)
 あなたはどうか 伊東典郎 (11) 仏作って魂入れず
 Hand off 歴史科 勝田勝年 (13) — 学校読書の問題 — 川添キシ (5)
 商業高校かたぎ 山田伝太郎 (15) 実践報告
 別れと出発 若林芳樹 (17) 修学旅行の疲労検査 鈴木潔 (8)
 ドイツ・ベルリン問題 (国際政治経済展望) 諏訪良二 (26) 本校のクラブ活動 山田幹夫 (10)
 <統計>国別・地域別世界貿易 (32) 日本史教育私見 失名氏 (11)
 第11巻第5号: 1959年5月1日 数学の指導技術について 上田幸夫 (12)
 (愛知教育大学附属図書館) はじめて「統計」を教えて 箕輪京四郎 (30)
 歴史教育における庶民生活の扱い方について □高校評判記□大分県立大野高校 小林茂 (6)
 (実践報告) 大塚力 (10) □教科書評□西岡虎之助「高校日本史」 筑紫申真 (14)
 <高校評判記>高田農業高校 岩谷生 (9) 外房の旅 其井豊 (16)
 現代資本主義と経済学 末永隆甫 (2) 国際見本市見学記 平井仙一 (17)
 ミシン・繊維機械 (日本の工業・その5) 田中誠 (22) わたしは博士になりたい 小林文瑞 (18)
 付録 35年度用教科書目録 (33 ~ 64) 実用化されていない毛筆習字 塚本生 (19)
 揺れるアフリカ (国際政治経済展望) 諏訪良二 (26) マス・コミ 友定節 (20)
 単独商業高校から女子高校へ 宗像康夫 (14) 日々に強く 品川誠 (21)
 散文詩・風冴ゆる 小川和佑 (16) □日本の工業□石油精製 (教授資料) R・S (22)
 かなづかひと文法学説のこと 竹内輝芳 (16) □生物教授資料□眼の発生その他 井上清恒 (26)
 短歌・親愛と威厳 獅子原正 (18) ■実教俳壇 石田波郷選 (7)
 「定時制」よがんばれ 芥啓介 (18) ■実教歌壇 宮柊二選 (15)
 □統計□主要国工鉱業生産指数 (グラフと表) (32)
 付録 35年度用教科書目録

第11巻第8号：1959年8月1日

(愛知教育大学附属図書館)

就職試験期日繰上げとそれに続く諸課題

宮坂義雄 (1)

□高校評判記□山梨県立農林高校 (5)

32単位課程の編成例 (実践報告) 石井正 (6)

熟練だけでは不十分

リーズ＝ウェード／葛谷茂夫訳 (10)

女性の教養 額田淑 (12)

文字はコトバではない アリマヨシハル (14)

シコ名の想出 坂本徳二 (15)

東京は近く、遙かに 及川量進 (16)

高校教師のための学会 服部太 (17)

□日本の工業□かん詰工業 (教授資料) F・F (20)

東西両陣営の経済統合の動き (国際政治経済展望)

諏訪良二 (26)

(高校生物教授資料) 耳の生理 井上清恒 (26)

歌壇 宮柊二選 (19)

俳壇 石田波郷選 (25)

□統計□主要経済指標 (32)

第11巻第9号：1959年9月1日

(愛知教育大学附属図書館)

短見が学力を低下させる 兼杉博 (1)

<生物教授資料>肝臓のはたらき 井上清恒 (7)

経済競争における問題点 (国際政治経済展望)

諏訪良二 (4)

一高校評判記一千葉県立茂原農業高校 (3)

戦中派の弁 入江春行 (12)

夜学は否 井口茂 (13)

社会科特集

—座談会—

社会科社会における専門ということについて

司会 大熊信行 (14)

—道徳教育—

高校の道徳教育をどう行うか

間瀬正次 (23)

モラルは時間と空間の座標の上に 水野清志 (28)

—実践報告—

憲法の学習を通して 新井田勝頼 (33)

政治の単元を終って 江房松 (39)

自己展開学習 筑紫申真 (42)

ライトの当たらない所にも歴史の歩みがあった

鈴木亮 (45)

視聴覚教育の方法の問題点 山本恒太郎 (48)

—紹介—

社会科社会の方法と問題点 上野格 (53)

史学界系譜 K・T (56)

世界史・授業・読書 吉田悟郎 (59)

工業の立地と工業地帯

風巻義孝 (61)

—統計—

主要国人口、出生・死亡・婚姻・乳児死亡率 (54)

主要国別世界砂糖生産高 (63)

実教歌壇 選者 宮柊二 (6)

実教俳壇 選者 石田波郷 (11)

教科書評 世界史 加畑一夫 (52)

第11巻第10号：1959年10月1日

(愛知教育大学附属図書館)

高校物理教育の問題点 林淳一 (1)

<高校評判記>宮城県柴田農林高校 K・H (7)

教師はつらい 伴一幸 (8)

曝書 野田次男 (10)

自由なる就職試験を望む 栗田収 (12)

かなづかいのこと 河野亮 (13)

面接の限界 重信一義 (15)

「製卵工場」見学記 石川寿雄 (18)

高校生と俳句 村田定男 (19)

自由詩・森のさゆり 山浦篤 (21)

<国際政治経済展望>波さわぐカリブ海地域

諏訪良二 (22)

<日本の工業>アルミニウム工業 J・Y (24)

<高校生物教授資料>性の機構

井上清恒 (28)

<統計>主要生産物および事項の世界統計 (32)

実教歌壇 宮柊二選 (17)

実教俳壇 石田波郷選 (21)

第11巻第11号：1959年11月1日

(愛知教育大学附属図書館)

家庭科の必修制をめぐる 柏節子 (1)

国語教師の悩み 西村俊介 (2)

人工衛星の運動原理に関する考察 相馬邦義 (4)

商事科について 大石忠良 (8)

<高校評判記>県立山形東高校 小泉 (9)

心に太陽を 渋谷計三 (10)

今日を捉えよ 宮崎光彦 (11)

卒業は検定で 井口祐夫 (14)

生産教育から学んだ心の糧 稲垣昭三 (16)

定時制運営の一例 奥村千尋 (20)

米国の図書館で学んだこと HU生 (21)

新米幹事 小松原弘 (22)

撲るタコ先生 三井田吉次 (22)

S子のたより 西山民雄 (23)

<国際政治経済展望>ラオス内乱と中印国境紛争

諏訪良二 (26)

<生物教授資料>性周期 井上清恒 (28)

実教教育ニュース (25)

<統計>都道府県別耕地面積および国土総面積 (32)
歌壇宮選(13) 俳壇 石田選(19) 漢詩 熊田正夫 (19)

第11巻第12号：1959年12月1日

(愛知教育大学附属図書館)

実態調査：テレビは生徒の視力にどう影響したか

佐藤裕 (1)

統計：テレビ受信契約都道府県別 (5)

話し方の勉強 鈴木秀男 (6)

言語生活における保守主義と進歩主義 おはら (7)

私の研究：便利な定規 高橋良助 (8)

高校評判記：福島県立喜多方商工高校

五十嵐登 (9)

ある感想 大川正晃 (10)

北原武夫の故郷 小川和佑 (11)

オートメ化への先がけ 平井仙一 (12)

政治単元と生徒と

勝野勲 (13)

職員会議について

大商迷月 (14)

私学の特徴

松宮敬 (15)

自由詩：田の草取り

北村貴幸 (16)

作文教育

品川誠 (16)

郷土研究：転換期にある畑どころの換金農業

須藤万治 (18)

ついの世に（日記を通じて見たる一葉の側面）

才市恵 (20)

私立高校は二峰型（数学学力テストより）

莊司寛 (22)

国際政治経済展望：1959年の回顧

諏訪良二 (24)

高校生物教授資料：性の機構

井上清恒 (28)

実教歌壇 宮柊二選(23) 実教俳壇 石田波郷選(27)

実教教育ニュース (26)

統計：都道府県別出生および死亡3ヵ年比較 (32)

(まるやま つよし 本学非常勤講師)

(おだか すすむ 本学准教授)